

社会福祉法人わらしべ会



君たちはつねに晴れ上がった空のように、
たかだかとした心を持たねばならない。

21世紀に生きる君たちへ(司馬遼太郎)

作家司馬遼太郎さんは、1978年4月わらしべ会の設立総会で記念講演をしてくださいました。
わらしべ会の玄関にある表札も司馬遼太郎さんの揮毫によるものです。
わらしべ会は、つねに原点にもどり、職員の志(こころざし)を、
利用者の希望を育む法人でありたいと思います。

理事長あいさつ

社会福祉法人わらしべ会
理事長 辻 和也



障がい者柔道の世界大会でアフリカの選手と。

わらしべ会と創設者村井先生のこと

社会福祉法人わらしべ会は、1981 年（昭和 56 年）3 月に医師の村井正直先生（1926～2010）と陽子先生（1930～2010）ご夫妻によって創設されました。村井先生はそれ以前に肢体不自由児の訓練方法としてハンガリーのペトゥシステムを導入し、わらしべ学園でその実践をされていました。

1981 年に重度身体障害者更生援護施設として創設されたわらしべ園では、柔道療育、障害者乗馬などユニークなプログラムが実践されてきました。法人としてはその後、知的障害者の入所施設である第二わらしべ園の開設をはじめ、相談支援、就労支援、ホームヘルプ、グループホームなどの各事業を展開してきました。

わらしべ会の使命と私たちの役割

わらしべ会は障害者支援施設わらしべ園（身体・入所）、第二わらしべ園（知的・入所）が母体となっている法人です。わらしべ会は何よりもまずこれらの利用者の生活を守り、支える法人であることを強く意識しています。障がいのある利用者ご本人が、安心して、健康に、そして楽しく暮らせる場を作り、守っていくのが第一の使命です。

また、これまで養ってきた障害者支援の経験や、創設以来つちかってきたチャレンジ精神をもとに、他にはない独自性のあるサービス、活動の提供を心がけています。

私自身は SNS やホームページを通じて、障がいのある人たちの生活とそこで働く職員のようにすを情報発信していく取り組みを続けています。ささいなことでも職員ひとりひとりが法人の使命を自覚し、情熱をもってチャレンジしていく、そういう法人でありたいと思っています。



法人創設者村井正直医師とわらしべ会の歩み

- 1977 年（昭和 52）医師村井正直、ハンガリー・国立ペトゥ研究所訪問
- 1978 年（昭和 53）肢体不自由児療育施設わらしべ学園（無認可）開設
- 1981 年（昭和 56）社会福祉法人わらしべ会認可（わらしべ園開設）
- 1987 年（昭和 62）姉妹法人として北海道に大滝わらしべ会発足
- 1999 年（平成 11）第 3 回国際ペトゥ学会開催（北海道浦河町）
- 2000 年（平成 12）ハンガリー共和国大統領夫人ご来園
- 2010 年（平成 22）わらしべ会創設者村井正直先生 10 月ご逝去
わらしべ会初代理事長村井陽子先生 12 月ご逝去

障害者支援施設

「障害者支援施設」とは、いわゆる「入所施設」で身体に障害がある方、知的に障害がある方が施設で生活するところです。短期入所（ショートステイ）も行っていますので、地域にお住まいの方が一時的に利用されることもあります。



わらしべ園

「わらしべ園」は、身体障害のある方が主な対象で、ほとんどの方が車いすを利用しています。入浴や食事など基本的なサービスのほか、日中活動では、和太鼓、外出、創作活動など、多彩な活動を行っています。わらしべ園では短期入所も利用できます。



「わらしべ園」住所 〒573-0103 枚方市長尾荒阪 2-3545 TEL 072-850-5507 FAX 072-850-5648

事業 ①施設入所支援事業：39 名 ②短期入所事業：2 名 ③生活介護事業：40 名



第二わらしべ園

「第二わらしべ園」は、知的障害のある方が主な対象の入所施設です。こちらにも入浴や食事など基本的なサービスのほか、日中活動では、空き缶リサイクル活動や軽作業のほか屋外テラスでの BBQ、エアロビクスやソフトボールなど楽しみながら身体を動かす活動を行っています。第二わらしべ園でも、短期入所が利用できます。



「第二わらしべ園」住所 〒573-0103 枚方市長尾荒阪 2-3545 TEL 072-850-8406 FAX 072-850-8412

事業 ①施設入所支援事業：40 名 ②短期入所事業：4 名 ③生活介護事業：40 名

生活介護

「生活介護」とは、いわゆる障害のある方のデイサービスで、身体に障害がある方、知的に障害がある方が昼間通って、創作活動や運動、レクリエーションをしたりするところです。基本的なサービスとして食事や入浴もあります。



はる Haru かぐまち

「Haru かぐまち」は、身体に障害がある方が主に通われている生活介護事業所です。送迎も行っています。活動内容は、創作活動や運動、外出や事業所の裏の畑で野菜作りなどを行っています。地域のイベントに積極的に参加して、ワークショップも行っています。

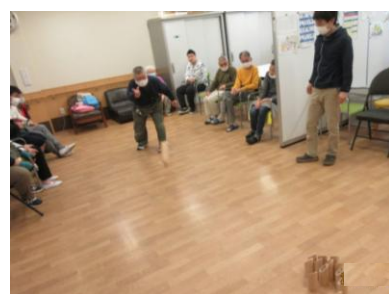


「Haru かぐまち」 住所 〒573-0102 枚方市長尾家具町 2-5-13 TEL 072-380-2364 FAX 072-380-4056
事業 生活介護事業：20 名



ハッピーガーデン

「ハッピーガーデン」は、知的に障害がある方が主に通われている生活介護事業所です。送迎も行っています。活動内容は、軽作業や、和太鼓、生け花、エアロビクス、書道、お菓子作りなどの活動を行っています。日帰り旅行などを行い、楽しい活動となっています。



「ハッピーガーデン」 住所 〒573-0122 枚方市津田東町 3-27-1 TEL 072-859-8555 FAX 072-807-8535
事業 生活介護事業：30 名



エミナわらしべ

「エミナわらしべ」は、知的に障害がある方が主に通われている生活介護事業所です。送迎も行っています。活動内容は、タオル加工をはじめとした様々な軽作業を行っています。季節の行事やレクリエーションも多彩です。



「エミナわらしべ」住所 〒573-0164 枚方市長尾谷町 1-101-1 TEL 072-807-3682 FAX 072-868-3305
事業 生活介護事業：20 名



わらしべ園

入所施設の「わらしべ園」も生活介護事業所です。地域にお住いの主に身体に障害のある方が送迎サービスを利用し昼間通われています。食事、入浴サービスはもちろん、創作活動や外出、地域のイベント参加など活動的な事業所です。

連絡先は障害者支援施設「わらしべ園」と同じ。



第二わらしべ園

入所施設の「第二わらしべ園」も生活介護事業所です。地域にお住いの主に知的に障害のある方が送迎サービスを利用し昼間通われています。食事、入浴サービスのほか、生け花などの創作活動や、エアロビクスや外出などのレクリエーション活動を中心に行っています。

連絡先は障害者支援施設「第二わらしべ園」と同じ。

(社会福祉法人)

ひるま通うところ

短期間泊まるところ

わらしべ会の生活介護とショートステイ

主に身体障害



「Haru かぐまち」の生活介護

主に知的・身体障害



「エミナわらしべ」の生活介護



「ハッピーガーデン」の生活介護

主に知的障害



「第二わらしべ園」の生活介護

主に身体障害



「わらしべ園」の生活介護

わらしべ会の生活介護の特徴

- ・作業やレクリエーションなどプログラムが豊富で楽しい。
- ・食事をそれぞれの施設で作っている（自前給食）ので、断然おいしい。
- ・身体障害、知的障害それぞれあって、障害の種別・程度に応じて選べます。
- ・わらしべ園、第二わらしべ園のショートステイの利用相談ができます。
- ・わらしべ園、第二わらしべ園の入所の相談もできます。
- ・職員がそれぞれの事業所を経験しているので連携して支援ができます。

わらしべ会の

ショートステイ（短期入所）の特徴

- ・ショートステイは、ご家族の介助が一時的に難しい場合に利用していただけます。
- ・日常的にも利用していただくことで、急な対応がしやすくなります。

「わらしべ園」の
ショートステイ

「第二わらしべ園」の
ショートステイ



就労継続支援 B 型事業所

・「就労継続支援事業 B 型」とは、就労の機会の提供（生産活動などの就労訓練を行う）、能力向上のための訓練・支援（就労に必要な知識や能力を向上させるための訓練）を行う事業所です。



セルプわらしべ

「セルプわらしべ」は、就労継続支援事業 B 型の事業所です。主に知的に障害がある方が来られています。作業内容は、軽作業、清掃作業、外部草刈などを行っています。1 泊旅行などの余暇活動も行っています。



「セルプわらしべ」住所 〒573-0154 枚方市王仁公園 2-2 TEL 072-858-1425 FAX 072-858-9398
事業 就労継続支援事業 B 型：20 名

グループホーム

わらしべ会は枚方市内に（主に長尾駅近辺）に数か所グループホームを運営しています。身体や知的に障害がある方が数名で暮らしています。食事作りや入浴支援など日常必要な支援は、世話人と呼ばれる非常勤職員が担っています。

あすなろホーム



「あすなろホーム」
住所 枚方市藤阪中町
事業 共同生活援助事業：8 名

ふじさかてらす



「ふじさかてらす」
住所 枚方市藤阪南町
事業 共同生活援助事業：10 名

すがはら

「すがはら」
住所 枚方市長尾元町
事業 共同生活援助事業：7 名



グループホーム統括事務所 TEL 072-855-5603

わらしべ会自慢のフォトギャラリー

車いすの利用者と一緒に
ハワイ・ホノルルマラソンに行きました



どの事業所も外出、遠足、旅行によく行きます



障害者スポーツをいろいろやります



福祉機器を試して
勉強しています



スーパーナカガワさんがよく
スイカをくれます



スポーツに熱心に取り組んでいます



外部の研修にもよく行きます



職員全体研修会



実は障害者柔道のパイオニア



なんと、イギリスのアン王女が来たことがあります



ケニアの障害児施設で施設実習



グループホームの人たちと回転ずし



けっこう豊富な自作動画コンテンツ。
Youtube で公開。



第二わらしべ園ソフトボールチームの沖縄合宿。
沖縄大学の学生さんと合同練習。



委託でない自前給食は
やっぱりおいしいと評判



ギターを弾ける？人もいる



遠足、旅行はみんな大好き



関西外大生と一緒にミュージカル発表する人もいる



絵画展をする人もいる

わらしべ会の事業所を利用したい障害当事者や家族のかたへ

わらしべ会の事業所を利用したいと思っておられる障害当事者やご家族のかたは、パンフレットにあるそれぞれの事業所の連絡先へ直接ご連絡ください。もしくはパンフレットの裏面にある法人本部へご連絡ください。

障害のある方が安心して暮らせるだけでなく、外出や日々のプログラムでいろいろな経験をしていただけるよう職員みんなで行っています。遠慮なくお問い合わせ、ご連絡ください。



わらしべ会の事業所で働いてみたいかたへ

わらしべ会では随時職員の募集をしております。障害のある方が元気で、楽しい経験を積んでいただけるよう一緒に働いていただける方がおられましたら、ぜひご連絡ください。非常勤では高齢のかたも頑張ってくださいています。(70歳まで応募できます)

ホームページでも採用情報を載せておりますが、関心のある事業所がありました直接その事業所にご連絡いただいてもかまいません。もしくはパンフレットの裏面にある法人本部へご連絡ください。



その他のご案内

障害者柔道 練習生募集

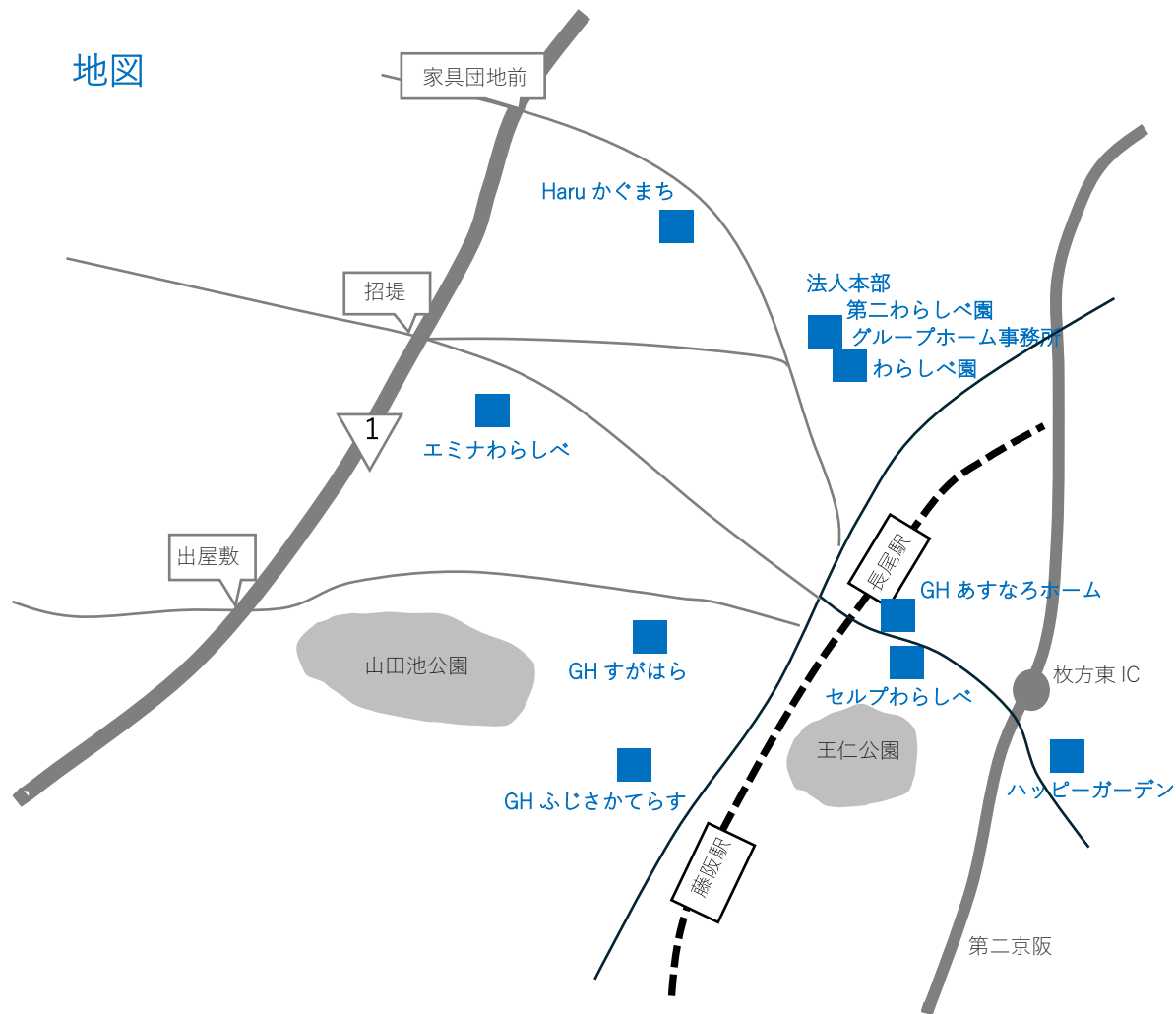
- ☐ 毎週土曜日午後 1 時 30 分～2 時 30 分（わらしべ会のホームページで練習予定日を掲載しています）
- ☐ わらしべ園多目的室（柔道場）（枚方市長尾荒阪 2-3545）
- ☐ 参加対象者
 - ・ダウン症のかた、知的障害のあるかた、精神的なしんどさをかかえているかた、身体障害のかたなどが来られています（18 歳以上の教室ですが、それ以下の方でも相談に応じます）。
- ☐ 柔道着はお貸しします。一度見学に来てください。



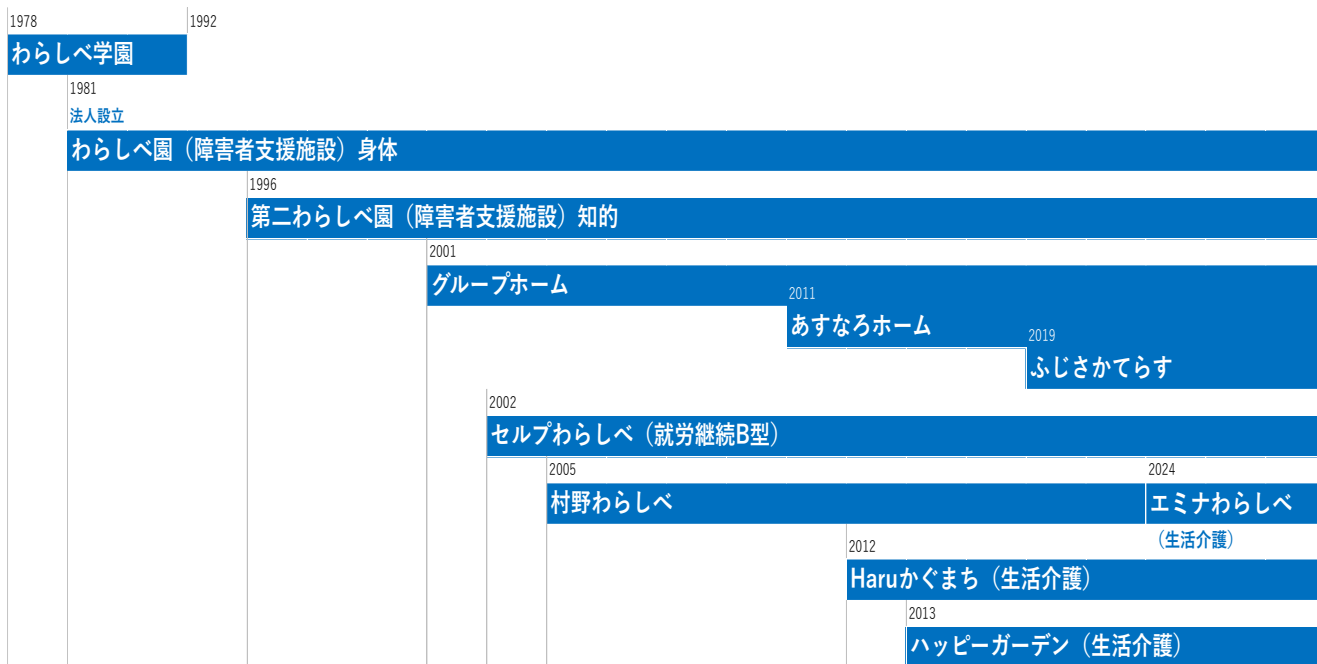
セルフわらしべの週末公開プログラム

セルフわらしべでは、障害のある方向けの「週末公開プログラム」を行っています。どこの事業所所属の方でも、どこの事業所にも行っていなくても参加できます。随時ホームページに予定を掲載しています。もしくは「セルフわらしべ」に直接お問い合わせください。





わらしべ会事業の沿革





ホームページはこちらから↑



インスタはこちらから↑



Youtube ははこちらから↑



社会福祉法人わらしべ会 法人本部
住所 〒573-0103 大阪府枚方市長尾荒阪 2-3545
TEL 072-850-5500 FAX 072-855-5527
e-mail info.wara.20@warashibekai.com